



消防第3課 消防士
長谷部 太智

「“士”である以上 プロでありたい」

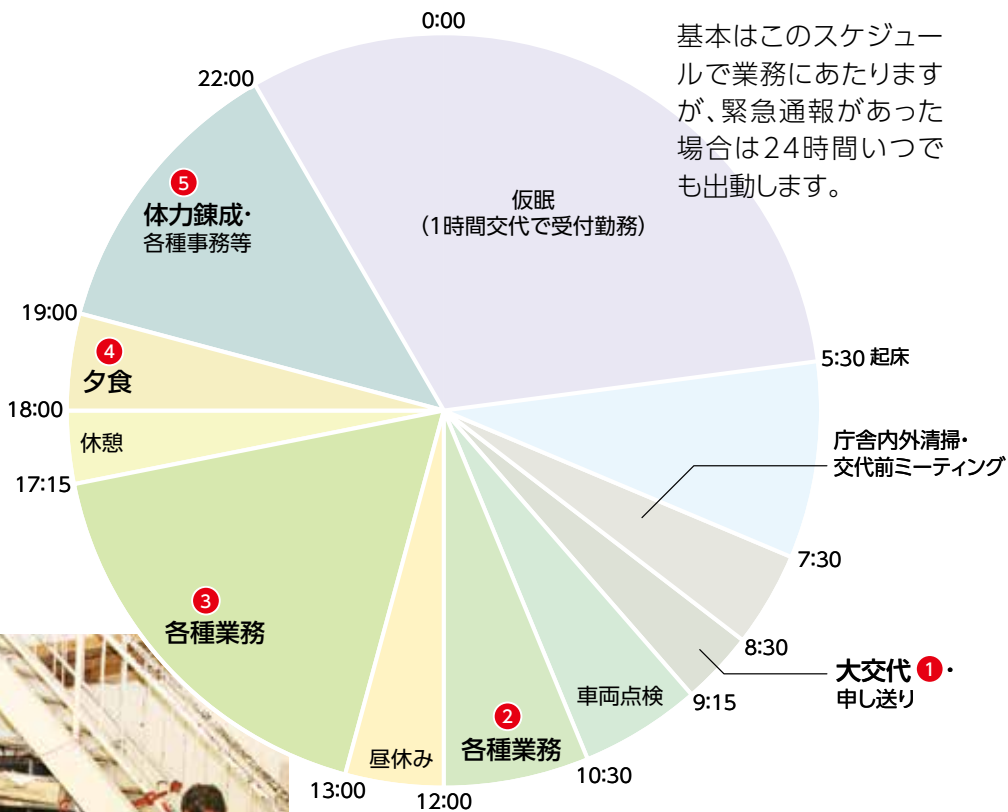
まだ私自身3年目ですが、住民がこの消防服を見れば、年数は関係なく「火消しのプロ」として頼りにされると思います。

私が出動したある交通事故の事案で、現場から病院に着くまでのAEDや心臓マッサージで命を取りとめ、後遺症を残さず日常生活に復帰した方の姿を目にしたとき「あのとき必死にやっていたよかった」と思いました。

「消防が来たから助けてくれる」という住民の気持ちに応えるために、私はその道のプロでありたいと思っています。



伊奈町消防密着24時



基本はこのスケジュールで業務にあたりますが、緊急通報があった場合は24時間いつでも出動します。

⑤これぞ私たちが想像する消防士のウェイトトレーニング! 90kgのバーベルを笑顔で持ち上げるみなさん…デカイ筋肉は圧巻でした。左上の写真は休日に公共施設などでトレーニングをする上村さん。住民の生命と財産を守るために、消防士にとって日々のトレーニングは欠かせません。



「一つとして 同じ現場はない」

救急件数が増加しているなか、一つとして同じ現場はありません。一件一件の活動を振り返ると、反省ばかりです。

医学が進歩している今、私たち救急隊は、常に前に進み、新しい知識・技術の習得に努めなければなりません。

一方、傷病者や助けた方の家族からの「ありがとう」の言葉を聞けたとき、幸せを感じます。私にとって救命とは、「生きがい」です。



消防第3課 消防司令補 救急救命士
上村 貴之

伊奈の明日は私たちが守ります!



① 前日と当日の当直が消防署前に整列して交代します。消防車や救急車の点検等を行い、消防の一日が始まります。

② 10月に行われた屋内消火栓操法大会の事前練習を指導する様子です。これは住民指導という業務のひとつで、救命講習会などもこの住民指導にあたります。



③ 自隊訓練の様子です。自隊訓練とは隊(課)ごとに重点的に訓練しておきたい内容をその日に決めて実施するもので、取材日は2階に取り残された要救助者を救助する想定の実行訓練を行いました。3連はしごの出し入れや、2階からの救助はすばやく的確で、そのなかにも課題を見つけながら進めていました。



④ 取材日の夕食は冷しゃぶでした。なんと2.2kgもの豚肉を豪快に鍋に入れていて、これぞ消防メシ!といった感じでした。実は当直日の夕食は自分たちで作っていて、料理の手際も抜群でした!18:00という少し早めの時間設定は、火が出やすい家庭の夕食時(19:00ごろ)を避ける目的があるそうです。